

三菱重工グループ グローバル行動基準 社長メッセージ

社員の皆さんへ

私たち三菱重工グループは、持続的に成長し続けるためには、変化を恐れずに新たな課題や試練に立ち向かわなければなりません。それらの課題や試練を克服し、信頼される企業として存続していくためには、難しい選択や決断を迫られる場面がますます増えてくると思います。

そのような場面に直面した際、私たちは、誠実・公正に業務を遂行することを最も大切にしなければなりません。これが全ての事業の根幹にあるべきものと考えます。

社会・産業インフラのニーズに応えるグローバル企業として、私たちは社会から信頼される企業として存続してきました。社会からの評価が、重工グループの持続的な成長の源泉となり、130年以上もの歴史を築き上げてきました。

この評価は、単に卓越した技術のみで得られるものではありません。お客様、ビジネスパートナー、株主・投資家の皆様、政府や地域社会などのステークホルダーの皆様からのコンプライアンスの期待にしっかりと応え続けることが何より欠かせません。卓越した技術と揺るぎないコンプライアンスの両輪で事業を推進することによって、重工グループは、グローバル社会でもっとも信頼され、そして評価される企業の1社として持続的な成長を実現できるものと確信しています。

しかしながら、たった1つのコンプライアンス違反が、重工グループへの評価を一瞬にして失わせてしまいます。理由が何であれ、倫理的に許されない行動を取ってしまった場合には、その事業から撤退することも止むを得ません。私は、コンプライアンスは成長の基盤であり、コンプライアンスと成長とが相矛盾することはありえないと信じています。もし、矛盾があるように感じた場合には、常にコンプライアンスを優先して下さい。

この三菱重工グループ・グローバル行動基準は、重工グループの全員が従うべき基本的な行動規範を定めています。自分の行動が、誠実・公正な業務遂行の原則に反しているのではないかと感じた場合には必ず確認して下さい。この行動基準を確認してもまだ迷う場合には、上司や同僚と相談してみてください。

重工グループの全員が、この行動基準に則して行動することを期待します。そして、誠実・公正さに裏付けられた信頼される企業であるというステークホルダーの皆様への期待と評価を大切に、皆で次の世代へ継承していきましょう。

平成28年7月1日

取締役社長 川村芳弘